

共創の場形成支援プログラム（COI NEXT） 令和8年度公募説明会

未来共創分野 POメッセージ

プログラムオフィサー

養王田 正文

東京農工大学 特任教授



共創の場形成支援プログラム

本プログラムでは、大学等を中心として、企業や地方自治体・市民等の多様なステークホルダーを巻き込んだ産学官共創により、**未来のありたい社会像をビジョン**として掲げ、その実現のため**「バックキャストによるイノベーションに資する研究開発」**とそれを支える**「自立的・持続的な拠点の形成が可能な産学官共創システムの構築」**をパッケージで推進します。ビジョンの共有により**「人が変わる」**、持続的な産学官共創システムの整備・運営により**「大学が変わる」**、科学技術イノベーションによる社会システムの変革により**「社会が変わる」**ことを目指します。

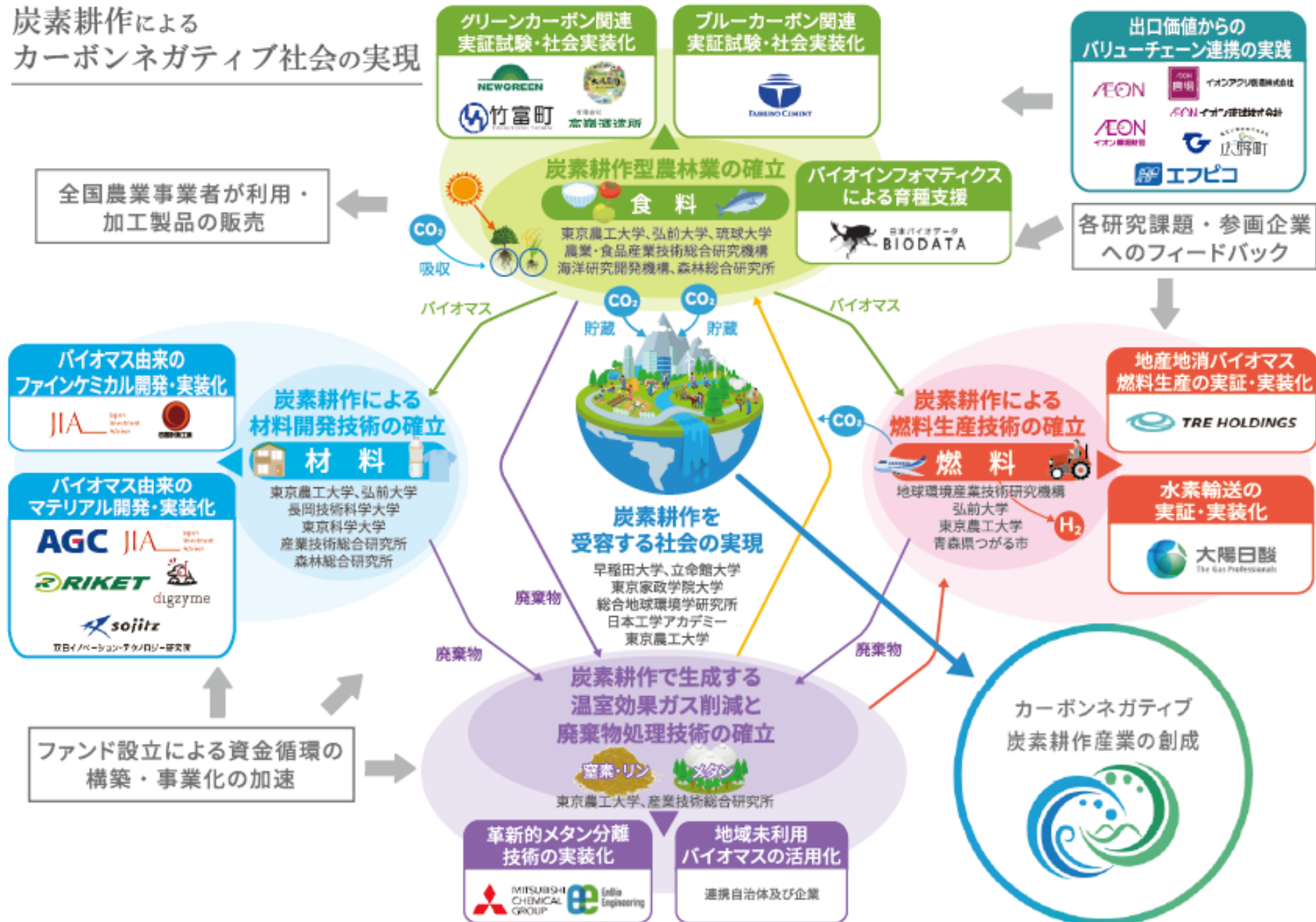
共創の場形成支援プログラム

- 拠点ビジョン
- ターゲット：戦略
- 研究開発課題：戦術
- 産学官共創システム
- 持続可能性

共創分野

“カーボンネガティブの限界に挑戦する炭素耕作拠”
を例として

炭素耕作による カーボンネガティブ社会の実現



カーボンネガティブの限界に挑戦する炭素耕作拠点

- 拠点ビジョン：
炭素耕作によるカーボンネガティブ
- ターゲット：5つのターゲット
- 研究開発課題：5つの課題
- 産学官共創システム：地域での社会実装
- 持続可能性：
拠点及び代表機関におけるビジョンの共有と継承

共創の場形成支援プログラムの課題

共創の場形成支援プログラムが対象とする社会課題は多岐にわたっており、そうした課題に取り組むためには、課題を抱える地域の大学、自治体、企業が一体となって対応する必要があることを実感しています。また、ビジョン実現には、プロジェクト期間を超えた継続的な取り組みが必要であり、長期的に課題に向き合うことができる若手人材が主体的に関与することが重要です。さらに、その取り組みが地域に留まらず、日本や世界にインパクトを与えるような革新的なものであることも求められています。

→ 未来共創分野

未来共創分野

地域大学等を中心とし、**若手研究者をPL**とするチームによる、ステークホルダーとの議論等を通じた**地域の社会課題**の見極め、当該社会課題の解決に寄与する**グローバル水準の研究成果の創出**と将来の**自立的・持続的な産学官共創拠点の形成**を目指す。

Phase 1 : 2年

Phase 2 : 5年以内 cf : 本格型 10年

リーダーに求められる資質

プロジェクト終了後の持続可能性： **若手**

- 研究力
グローバル水準の研究成果の創出
- 組織力、リーダーシップ
自立的・持続的な産学官共創拠点の形成

“二刀流”人材の発掘、育成、活躍
メンターの重要性

R7年度採択課題

未来共創分野・フェーズ1 ×3

合計 3 拠点

ナノコーティングが再生する
環境未来都市共創拠点
材料、インフラ

オミックス・IoT・AIで健康と社会
を最適化する山梨ヘルスケア・セ
ンtralシティ未来共創拠点
医療

神戸大学
(R7未来共創・フェーズ1)

山梨大学
(R7未来共創・フェーズ1)

豊橋技術科学大学
(R7未来共創・フェーズ1)

農業と先端技術の融合による
アグリビジネス共創拠点
農業

R7年度採択課題の特徴

- 地域の課題に基づいた提案であるが、日本や世界にインパクトのある提案
- PLのキーテクノロジー
- PLへのサポート体制
- 若手研究者のネットワーク

POとして重視するポイント

- 拠点ビジョン
 - 地域課題
 - ターゲット設定
 - 拠点と代表機関における共有
- 期待される研究成果
- リーダーの育成と支える体制
 - 二刀流
- 代表機関（大学等）における拠点の位置付け
 - 大学等をどう変えるか
- 拠点組織
 - 多様性、組織、課題解決力、産官学連携 など

チャレンジングで優れたご提案を期待しています